

ワン＆オンリーさが

第53号会報 日本一赤ちゃんを大切に作る佐賀に!

発行日 R3.5.18
発行人 林田紀子
連絡先 佐賀市白山 2-1-12
佐賀商工ビル 7F No.8
佐賀いのちを大切にする会
TEL 0952-29-8545

かつこちゃんからかつちゃんへ

いのちのバトンをつないで

みんな生まれて来た意味がある

佐賀いのちを大切にする会

代表 林田 紀子

今なお、コロナウイルス感染拡大の状況にありますが、皆様にはお元気で過ごしてでしょうか。

コロナ禍になり、人間にとって一番大切な人とのつながりを阻まれるという、思ってもみなかった事態となり、昨年はいのちの会の活動も思うようにできず、悶々とした思いがありました。

そのような中、コロナ禍での妊婦さんとお腹の赤ちゃんを応援する要望活動を行い、佐賀県でも九つの市町で「赤ちゃん応援特別給付金」が決定した事は大きな喜びでした。

また、七月に予定していた「第二十六回いのちの講演会」は十一月に延期。感染防止対策を徹底し、オンライン配信も取り入れて開催しました。

開催を決めた後も、急に不安になったり、葛藤の連続でしたが、講師の山元加津子先生(かつこちゃん)の「すべてはいつかいい日のためにある」との言葉に皆で支えられながら、取り組んで来ました。

講演会前日、色々準備が残っていて体力の限界を感じていた時、ふと、コロナ禍にも関わらず楽しみに参加して下さる皆様がいること、今回全国で皆さんがオンラインで参加して下さることを思い返し、有難さで涙があふれ、力が湧いてきました。きっと大丈夫、必ずよい講演会になると思うので当日を迎えさせて頂きました。

当日は若い力で講演会を盛り立ててくれた高校生ボランティアの皆さんを含めて230名の参加となり、かつこちゃんの温かい優しい愛に包まれて感動の講演会となりました。悩んだり葛藤した事もすべて意味があり、すべては大丈夫なように用意されていたのだと改めて感じています。

さて、今年の「第二十七回いのちの講演会」は

七月十日(土)に内田勝也さん(〇〇な障がい者の会 会長・愛称かつちゃん)をお迎えして開催します。今なおコロナ禍にありますが、昨年の講演会の経験を活かして、感染防止対策を徹底し、工夫しながら開催しようと準備中です。

講師の内田勝也さんは、先天的に骨が脆く骨折しやすい「骨形成不全症」という病気で、車椅子で生活しておられます。黒木由美先生のご紹介文にありますように、かつちゃんがお母さんのお腹にいた時に病気がわかり、医師に産むかどうかを尋ねられた時、お母さんは「私のお腹の中で生きている赤ちゃん、どんな障害をもつていようと育てます、産みます」ときっぱり答えられたそうです。

かつちゃんは、こうして生まれて来た命、授かった命を大切に生きていこうと、「たった一度の人生だから」と、自分が生まれて来た意味、使命を問いかねながら、誰もが暮らしやすい社会づくりの活動に取り組んでおられます。三十一歳のかつちゃん、電動車いすで颯爽と佐賀のまちを走る姿に、私もいつもたくさんの元氣と勇氣をもらっています。

かつちゃんのお話で学んだ「みんな生まれて来た意味がある」——この事を実際にその姿や生き方で示して下さっているかつちゃん。かつこちゃんからかつちゃんへ、いのちのバトンをつないで「第二十七回いのちの講演会」開催します。皆様、どうぞご参加下さい。



第27回いのちの講演会
7月10日(土)13:30~
講師:内田 勝也 氏
会場:アバンセホール

内田勝也さん講演会によせて

佐賀いのちを大切にする会

応援団 黒木 由美

昭和から平成へと移り変わった頃、彼の母親は第二子を妊娠しました。程なく産婦人科の医師から告げられたのは「お子さんは先天的に骨が形成されない病気です。歩くことはできません」という言葉でした。そして産むかどうかを尋ねられたそうです。彼の母親は即答しました。

「私のお腹の中で生きている赤ちゃん、どんな障害を持っていようと育てます、産みます」と。赤ちゃんの頃はオムツ替えにも気をつけながらの子育てでした。歩くことができないので車椅子生活。

社会人となった彼は自分の世界を広げる為に様々な挑戦をしている。彼の素晴らしいのは自分の可能性を広げるところに留まらないところである。障害を持った人たちがどんな外に出て行けるような活動をしている。それはハードという整備を進めることと、ハートという周りの人たちに障がい者への思いやりの気持ち育てる、自分に何が出来るかを気づかせるという二つの活動である。

勇氣を持って出かけても世間の冷たい視線や言葉を浴びる。彼はここに注目して活動を始めた。佐賀県と協同して暮らしやすい社会づくりに取り組んでいる。障害を持つ人たちが外に出ることが多くなるとともに、県民の意識が高まってきていることは確かである。

電動車椅子で颯爽と走る彼に誰彼となく市民が「かつちゃん」と声をかけていく。勇氣をもっているのは私たちの方である。

内田勝也君の話聞きながら「生まれた命、育ててもらった命を大切に生きていこう」ということ、またみんなが暮らしやすい社会を作るとはどういうことかもあらためて一緒に考えていく時間になればと思います。

★円ブリオ基金へのご協力、ありがとうございます！！

R2年6月～R3年4月(順不同・敬称略)

石戸綾子	317口	下平しずえ	647口
古賀ゆかり	2030口	実践倫理宏正会	630口
的野千鶴	548口	梅野保子	550口
ロザリオの園老人ホーム北川	2294口	小嶋倫子	2873口
大石多加子	469口	高木八幡宮	10518口
中村千恵子	659口	居石しのぶ	663口
秋吉くるみ	1315口	豊メガネ	291口
佐賀市役所 久保田支所	2472口	鶴田明美	257口
国立病院機構佐賀病院下田薫	280口	唐津市母子福祉課&相談者の方	6791口
藤井整形外科病院	5129口	アングルジャム・ベーカリー	1631口
高橋清子	696口	菊川れい子	944口
古賀ゆかり	2598口	野田玲子	520口
ピアス美容室	1747口	アングルジャム・ベーカリー	739口
BeautySalon ふるかわ	659口	中島里美	1028口
秋吉淳	1420口	吉岡沢美	568口
徳久房美	575口	檜崎薬局	540口
立正佼成会 佐賀教会	3931口	大崎英美	1150口
池田浩	2262口	センヤイチバ	20152口
力武順子	2277口	アングルジャム・ベーカリー	760口
生田まき子	536口	豊メガネ	283口
古田悦子	1385口	鶴田尚子	713口
上野裕佳・利晃	1260口	小松洋子	779口
奥蘭律子	2134口	相知婦人会北部支部	320口
持永良子	288口	檜崎薬局	409口
与子田孝治	943口	アラキ化粧品	564口
森 薫	495口	やわらぎ整骨院	2017口
松永恵美子	271口	佐賀大学アグリセンター唐津	428口
前田みよ子	224口	村山了子	2835口
井手信子	265口	古賀野美代子	1001口
内川清子	1735口	永田ノリ子	55口
大島ひろみ	4322口	菊川れい子	1111口
馬場(鹿島市役所)	107口	アングルジャム・ベーカリー	388口
野田ナツ子	4296口	菊川れい子	975口
坂元小百合	308口	野崎敦子	451口
岩田かずちか事務所	5337口	川原絹子	248口
西原比佐子	1000口	宇都宮病院	3950口
飯盛みどり	1000口	戸田敏子	278口
八田洋子	1055口	宮崎美穂	261口
西村裕子	308口	国松智子	313口
江島光代	253口	江頭佳代	165口
土井和子	107口	唐津市鬼塚公民館	973口
木下義昭	679口	小松富喜	170口
中村由美子	264口	岩田悦子	142口
寺野幸子	161口	山口誠子	287口
深町清子・杏	1000口	大崎英美	1297口
自民党女性部会	8337口	唐津ワン＆オンリー会参加者一同	5555口
icoe(チャリティ企画)	11000口	岩田廣子	2209口
深川書道教室有志	3352口	なかなかクリニック	5445口
村岡利江	745口	谷川香織	591口
坂西遥菜・七海	3875口	佐賀県医療センター好生館	4519口
		匿名	587口

☆円ブリオ基金PR自動販売機

(H31.1月～12月)

ネオス(株) センヤイチバ	6642口
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)	8770口
堀上車体	

コロナ禍で開催した第二十六回いのちの講演会

第二十六回いのちの講演会実行委員長

佐賀いのちを大切にする会

相談役 原 忠義

一昨年の香葉村先生の講演会に続き、昨年の山元加津子先生(かっこちゃん)の講演会も、特別支援学校に長く勤めていたこともあって、実行委員長を引き受けました。

当初七月に予定していた講演会は、新型コロナウイルス感染症問題が起き、講演会開催を十一月に延期しました。そのような中、会では毎月運営会を行いながら、会報の作成に力を入れて、会員の皆様と関係機関へ送付しました。相談役や応援団の先生方には「応援メッセージ」をお願いし、コロナ禍を乗り越える思いを寄せていただきました。

九月から講演会へ向けて本格的な準備を開始し、春にお願いした名義後援の再確認を行い、オンライン申し込みも入ったチラシを作成し、講演会用のホームページでも告知しました。十月十日に講演会大成功へ向けて「キックオフの集い」を行い、相談役の森山隆子先生や応援団の黒木由美先生にもご参加いただきました。

佐賀新聞「有明抄」に講演会のこと載ってから申し込みがどんどん増え、感染防止対策の準備も進めながら、私の方はステージに掲げる横幕や垂れ幕、感染対策用の看板等を作成しました。講演会前日は、運営体制と進行の確認、基金箱など渡す物の準備に、申し込み対応が重なって大変でした。

そして講演会当日、かっこちゃん大ファンの古賀央子先生に、夢ふくらむ紹介コーナーを作っていただき、コロナ禍で心配していた学生ボランティアの参加も大変多く、本当に良かったです。感染対策に気を遣いながら、運営や進行のメンバーも心を合わせ、真心の応対をしていただきました。

延期開催になったことで、ほぼ一年近くにわたり、講演会へ向けて、みんなで心を合わせて取り組んでき

ましたが、当日は、ゆっくりと気持ちを受け止めるような、かっこちゃんの優しい語り口、あたたかな思いにつつまれて、感動的な講演会を開催することができ、本当によかったと思っています。



講師：山元加津子先生
会場の看板・表示はすべて原実行委員長の手作り

家族の応援を受けて、まごころで取り組んだ

いのちの会のボランティア活動

佐賀ワン＆オンリー会 村岡 利江

昨年私は、久しぶりに『いのちを大切にする会』のボランティア活動に参加させて頂きました。

春には、相談を寄せられた妊婦さんの出産準備に、会へ集められた子供服の中からベビー服等を選ぶお手伝いをしました。

又、佐賀市長に『コロナ禍の妊婦さんとお腹の赤ちゃんを応援する特別給付金』をお願いする要望書を手渡す時には、私も同行させて頂きました。

佐賀市に続いて県内の各市町にも「コロナ禍中に生まれてくる赤ちゃんへの支援」を検討して頂けるように要望書を送付し、分担して電話をかけ、お願いをしました。私は市や町への電話かけは初めてで、緊張の連続でしたが、その結果、佐賀市をはじめ多くの市町で給付金の支援が決まった時は、感謝の気持ちでいっぱいでした。勇気を出して一歩を踏み出して本当に良かったです。

毎年七月に開催される「いのちの講演会」はコロナ自粛で十一月に延期されました。講師の『かっこちゃん(愛称)』からの「佐賀に行くのを楽しみにしています！」という前向きなメールに背中を押されるよう

に講演会の準備に熱が入りました。

私は、今回の講演会で、参加者の方にお渡しする『円ブリオ基金箱』の担当に決まりました。まずは、基金箱作成の為に牛乳パック集めから始めました。

コロナ禍でなかなか集まりにくい小サイズの牛乳パックを、小林さんが、お子さんの小学校にお願いし、集めてもらう事になりました。次は、基金箱の作成。講演会までに二百個は箱が必要！間に合うのか？と心配でしたが、地道に夜なべ仕事で二百個も基金箱を作った下は、飯盛さんはじめ唐津の方から三十箱、鹿児島の方の会の方から七十個等々多くの方々が基金箱作りに協力下さいました。「基金箱作りが気分転換になる」と、親の介護をしながら作って下さった方もあり、それぞれの持ち場でできることをさせて頂くことの有難さを感じました。

講演会当日は多くの方がずっしりと重い基金箱を持って参加下さり、真心を込めて作った新しい箱を皆様にお渡しすることができました。

コロナ禍にも関わらず、当日は高校・大学からの学生ボランティアがかけつけて下さり、会場定員の半数の二百席が満席になりました。参加下さった方々は、かっこちゃん先生の優しいお話に心温まる素晴らしい講演会になりました。

講演会が終わり、家へ帰り着き「ただいま」と台所のドアをあけたと同時に「お疲れさま！」と、息子と娘が笑顔いっぱい拍手で迎えてくれました。私にとって何よりも嬉しい瞬間でした。

この一年は、その時々のご縁や真心の行いで繋がれてくる事が出来たいのちの会の活動でした。



円ブリオ基金箱担当
村岡さん



<維持会員>

こがクリニック 古賀 益子
堤 昭一郎
藤井整形外科 藤井 利雄
アンジェルクス 千住 英正
香上 憲造
大隈レディースクリニック
中村 千恵子
太崎 英美
林田 紀子

<一般会員>

白倉 和子
副田 峰子
内川 清子
寺尾 博子
井崎 弘之
古川 津代子
梶原 玲子
川原 みさ子
蒲原 幸子
西久保 弘克
いとこの家 指宿 淳子
内野産婦人科 内野 秋子
溝内 義己
小嶋 倫子
岡田 ひとみ
原 忠義
鷺崎 隆司
飯盛 志真恵
中島 福代
橋本 和美
黒木 由美
吉住 潤子
鶴田 恵子
野田 理津子
南里 恵美子
原口 照代
日伸不動産 中島 則行
大野 博之
一之瀬 裕子
針長 千秋
中牟田 静子
福島 美佐子
菊川 れい子
徳久 房美
戸田 敏子
満岡 聡
延塚 秀子
宗像 順子
中尾 知佳子
野田 ナツ子
日伸不動産 中島 則行
吉住 潤子
古川 津代子

☆会員のご協力、ご寄附、

誠にありがとうございます。

R2年6月～R3年4月(順不同・敬称略)

江島 佐知子
木原 みち子
川原 みさ子
西久保 弘克
今村 純子
中里 宣子
古川 絹子
中島 里美
加藤 元章
毛利 陽子
深川 ゆきみ
大井 あけみ
堤 正之
川原田 芳野

<賛助会員>

大串 千和子
堤 正博
奥江 懐吾
田中 信明
本村 満江
野中 ふみえ
大石 真理子
廣瀬 宣之
藤川 ハツエ
原口 径子
手島 富子
佐藤 貴美子
古賀 亜伊子
渡邊 美智子
原口 佳子
片渕 邦子
片渕 知津
久富 文江
坂田 艶子
松永 裕子
柳川 英明
浅山 美由紀
長友 明美
山口 美佐子
鶴丸 雅加
宮地 由美子
岸川 緒子
中本 正一
与子田 孝治
鶴田源員・昭美
松本 幸
八田 洋子
淵上 ふみえ
村岡 利江

百武 美恵子
角田 圭子
山本 富美子
清水 宜行
佐藤 貴美子
川村 久美子
宇都宮 邦子
藤川 ハツエ
関 孝子
野田 弥生
北川 薫・和江
大串 千和子
小笠原 清美
高取 千恵子
福地 真紀子
樋口 文子
平尾 節子
小林 詠子
飯盛 千鶴
松本 幸
堤 喜矩子
岩田 悦子
米光 光子

<寄付>

近藤 久子
日伸 不動産
古館 順子
古川 京子
竹並 和國
米光 光子

★第26回いのちの講演会

ご協賛ありがとうございました

<講演会協賛金>

黒木 由美
同行会 森山 隆子
上野 敦子
大崎製作所
匿名
戸田 敏子
村岡 義彦
彌吉 路
森 綾子
飯盛 千鶴
清水 宜行
内川 清子
中尾 知佳子
川村 久美子
大石 真理子

古賀 亜伊子

真子 博孝

寺尾 博子

田中 信明

屋久島尾之間診療所

福島 美佐子

井崎 弘之

日伸不動産 中島 則行

こが内科こどもクリニック

古賀 益子

渡邊 美智子

藤川 ハツエ

外町レディースクリニック

廣瀬 宣之

医療法人透現 藤井 利雄

(株)宮崎薬局 宮崎法幸

八尋 典子

原 忠義

橋本 和美

梶原 玲子

松本 幸

宇都宮病院

野中 ふみえ

つつみクリニック 堤 昭一郎

医療法人コールメディカル

クリニック佐賀

波戸内 秀子

大串 千和子

北川 薫・和江

中里 宣子

江頭 みどり

久富 文江

鶴丸 雅加

宗像 順子

泉 万里江

中村 千恵子

堀上 車休

喜多 麗子

古川 和美

キューリエジャパン(株)

千住 英正

心学塾エデュコ

中原 由美子

丸美屋 金子智則

山口 美佐子

喜多 明子

喜多 紀彦

中牟田 静子

園田 照子

岡田 ひとみ

中山 幸子

角田 圭子

福地 真紀子

林田 紀子

佐賀県東部にいのちの会の輪を広げたい～鳥栖カトリック教会訪問記

佐賀いのちを大切にする会 副代表 中村 千恵子

○かねてより私は、吉野ヶ里、鳥栖市、基山町など佐賀の東方面を円ブリオ基金や小さな講演会など、いのちの会の輪を広げられないかなと考えていました。そこでまず、クリスチャンとして親交のある鳥栖カトリック教会の神父様に話に行きました。

○山元神父様は昔から愉快的な神父様で、すごく話し易くて面白くて、うんうん、とずっと真剣にお話を聞いて下さって、「宗教に関係なくやっておられる会に教会が参加して、協力して命を守る活動が出来るなんて、素晴らしいことだと思う!」「教会内で当たり前に思っていた胎児の命を大事にする、ということを改めて話し合う時がきた」と言って下さり、すごく意気投合しました。

○その後連絡したところ、鳥栖教会は円ブリオ基金について動き始めていました。コロナ禍で予定がずれていますが、基金箱作りの活動チームができ、スタンバイ中とのこと。画家さんがおられ、絵ハガキを描いて販売し、売り上げから材料費を除いた残りを円ブリオ基金に寄付する取り組み等も前向きに検討しているとのこと。これからの活動がとても楽しみです。

